

中野

## 友の会の「福島農家支援野菜販売」が大好評

### ●福島支援で野菜販売

12月27日(木)、中野共立診療所の玄関前で「福島農家支援野菜販売」を行いました。これを計画したきっかけは、医局旅行で福島県田村市を訪れた際、農家の方々が地震、津波、原発事故、風評被害の4重の苦しみで苦しんでいるのを見て、山本英司副院長が少しでも協力出来ればとたくさんの野菜を取り寄せ、普段お世話になっている共立健康友の会の役員さんにプレゼントした事でした。みなさん大変喜び、先生の気持ちに応えたいと、友の会で福島の野菜販売をすることに。当日は、「いい野菜だね」「安すぎるよ」「米がおいしかったからダンナに買って来いと言われた」など役員が繰出。



### ●野菜は1時間で完売!!

賑やかに、「田老町支援Tシャツ」や「いつでも元気」のエプロン姿で完全防寒対策をし、夕方までかかると覚悟していましたが、抱えきれないほど野菜やリンゴを買う人もいて、一時間ちょっとで完売になりました。後から買いに来た方には申し訳なく、次回はもっと取り寄せようと張り切っています。(中野共立健康友の会 野澤愛子)



流山

## はじめてのスタンディングアクション

首相官邸前抗議行動に続け!と反原発流山アクションが12月21日に行われ、東葛看護学校や東葛健康友の会、地域の仲間35人が流山おおたかの森駅コンコースにて反原発の声をあげました。9月、11月のデモに続き3回目は初めての駅前のスタンディングアクション。タンバリンで応援する中、学生一人ひとりがマイクを握っての訴えに通勤のサラリーマンや学生たちの注目が集まり、約1時間の行動で42筆の反原発署名が寄せられました。参加者からは「大きな集会には何回か行ったが流山は初めて。みんな反応が良い。小さな子を連れて若いお母さんが署名やシール投票をしてくれた姿が印象的でした」「初めはなんか、みんなに避けられているようで恥ずかしかったが、大人数で自分たちの主張が出来て嬉しかった」「若い人でシールを張ってくれる人が何人もいました。関心があるようで、立ち止まって署名をしてくれたので嬉しかった」などの感想が語られました。(東葛病院「社保・平和・地域活動ニュース」より抜粋)